

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成27年12月25日

協議会名:	福井市地域生活交通活性化会議
-------	----------------

評価対象事業名:	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)
----------	---------------------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	既存ストックを活用しながら、公共交通のサービス向上と利用促進に取り組み、中心部のにぎわいと郊外部のやすらぎを結ぶ、誰もが安心して快適に移動できる全域交通ネットワークの構築を図る。地域にふさわしい交通サービスの確保と利便性向上を進め、過度にクルマに依存した交通環境からの脱却と、環境負荷の小さい公共交通への転換を目指す。
-----------------------------	---

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成27年12月25日

協議会名: 福井市地域生活交通活性化会議

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
福井交通株式会社・鷹巣・栗線	市北西部の鷹巣地区菟浦町から、交通空白・不便地域である白方町等を経由して福井温泉病院に至る路線 (H25:路線定期運行) (H26:デマンド運行)	交通弱者への最低限の移動手段を効率的に確保し、事業の継続性を高めていくために、平成26年度事業から鶉山バスの一部統合等も含め、デマンド運行に移行した。沿線住民から成る運行協議会や運行事業者による利用促進活動を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B デマンド運行に移行し2年度目となり、利用実績は伸びたが、目標値に対してはわずかに下回った。 ・年間利用者数:3,300人に対して3,072人 ・利用者1人あたり行政負担額:1,800円/人以下に対して1,804円/人	定期的な利用者にはデマンド運行に対する理解が得られてきており、利用頻度が増加している。利用者の獲得に向けて、地元住民や交通事業者とも連携しながら利用が少ない地域への周知広報を行い認知度を高めていく。
京福バス株式会社・酒生いきいきバス東郷ルート	市街地の東部に位置する酒生地域において、高尾町の斜面住宅団地を起点に、既存集落を経由してJR越前東郷駅や済生会病院、スーパーマーケット等に至る路線(路線定期運行)	引き続き、地域の運行協議会が主体となって、時刻表の全戸配布やポケット時刻表の作成・配布等を周知活動を行った。地域の祭りなどのイベント等にも活用されており、地域活性化のツールとしても活用されている。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 単なる公共交通不便地域の解消だけでなく、地域住民のコミュニティ醸成や地域活性化のツールとしても活用が図られている。 ・年間利用者数:8,900人に対して9,328人 ・乗継利用の割合:45%に対して52.2%	高齢者を中心に定着が図られており、利用人数も増加している。利用が少ない便を見直すとともに、利用が見込める施設等へ停留所を設置するなど効率化を図る。また引き続き、地域のイベント等を利用し、隣接した地域との交流を深めることで、地域外の住民への
京福バス株式会社・酒生いきいきバス北ルート	市街地の東部に位置する酒生地域において、高尾町の斜面住宅団地を起点に、既存集落を経由してJR越前東郷駅や済生会病院、スーパーマーケット等に至る路線(路線定期運行)	引き続き、地域の運行協議会が主体となって、時刻表の全戸配布やポケット時刻表の作成・配布等を周知活動を行った。地域の祭りなどのイベント等にも活用されており、地域活性化のツールとしても活用されている。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 単なる公共交通不便地域の解消だけでなく、地域住民のコミュニティ醸成や地域活性化のツールとしても活用が図られている。 ・年間利用者数:8,900人に対して9,328人 ・乗継利用の割合:45%に対して52.2%	高齢者を中心に定着が図られており、利用人数も増加している。利用が少ない便を見直すとともに、利用が見込める施設等へ停留所を設置するなど効率化を図る。また引き続き、地域のイベント等を利用し、隣接した地域との交流を深めることで、地域外の住民への

京福バス株式会社・酒生いきいきバス南ルート			A	計画どおり事業は適切に実施された。	利用者数・乗継利用の割合ともに目標値を達成した。	利用促進に向けた取り組みを行う。	
京福バス株式会社・岡保地域コミュニティバス北周り	市街地の東部に位置する岡保地域において、既存集落を經由して済生会病院、ショッピングセンターやスーパーマーケット等に至る路線(路線定期運行)	定期的な行事やイベント等を開催するなど地域の取り組みにより、利用者数を大きく伸ばしている。沿線の商店等の割引券が付いたチラシ配布なども一定の効果がある。あられている。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	酒生地域と同様に公共交通不便地域の解消だけでなく、地域住民のコミュニティ醸成や地域活性化のツールとしても活用が図られている。 ・年間利用者数:9,000人に対して8,234人 ・利用者の満足度:4.0に対して4.3 目標値には達していないが、昨年度と比較して利用者数は大きく増加した。	目標利用者数を達成するまでには至らなかったが、定着は図られた。公民館行事等の際には利用してもらうなど、利用者増に向けた促進活動を行う。
京福バス株式会社・岡保地域コミュニティバス南周り			A	計画どおり事業は適切に実施された。			
光タクシー有限会社・殿下かじかポッポー地区外ルート	市西部の殿下地域(中山間地域)の谷筋に散在する集落から、地区の中心部を經由して隣接地域の大規模商業施設に至る路線(区域運行)	地区外からの利用者の獲得のために、地区外への周知広報を行ったが、多くの利用者の獲得には至らなかった。利用が少ない地域への周知広報による利用促進を行う。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	高齢者を中心に日常生活に欠かせない移動手段として定着が図られてきた。 ・利用者1人あたり行政負担額:1,200円前後/人に対して1,489円/人 ・乗継利用の割合:50%に対して60.0%と目標値を回った。	地区内に居住する高齢者等の利用がほとんどであり、将来に亘り利用者を拡大していくことは困難である。引き続き地区外からの利用者を獲得を目指すほか、利用者の獲得に向けて、地元住民や交通事業者とも連携しながら利用が少ない地域への周知広報を行い認知度を高めていく。
福井鉄道株式会社・青葉台ルート	市南部の麻生津地区において、斜面住宅団地である青葉台や江尻ヶ丘、スーパーマーケットや鉄道駅等を経由する循環路線(路線定期運行)	鉄道等との往復乗継割引切符の周知広報を強化し、地域内移動だけでなく、乗継ぎによる地域間移動を推奨することで利用促進を図った。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	江尻ヶ丘団地等、従来バス交通サービスが希薄であった地域を中心に利用者が増加傾向にあり、徐々に定着が図られつつある。 ・利用者数:7,900人に対して7,020人 ・乗継切符販売数:30枚/月に対して17枚/月	鉄道等との往復乗継割引切符の周知広報を継続的に行い、地域内移動だけでなく、乗継ぎによる地域間移動を推奨することで利用促進を図っていく。 また、沿線の商業施設等の協力を得て、バス利用者への優遇措置を設けることで、さらなる利用者増を目指す。
福井鉄道株式会社・江尻ヶ丘ルート			A	計画どおり事業は適切に実施された。			
福井鉄道株式会社・大島下荒井ルート	市南部の清明地区において、公共交通サービス圏域外の住宅団地や既存集落と、地域内の大規模商業施設を結ぶ循環路線(路線定期運行)	ショッピングセンターの敷地内でのバス停新設及びこれに伴う各ルートの一部経路変更し利便性の向上を図った。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	杉谷町や大島町等の公共交通空白・不便地域の解消が図られた。 ・利用者数:12,000人に対して12,946人 乗継切符販売数:20枚/月に対して6枚/月	鉄道等との往復乗継割引切符の周知広報を継続的に行い、地域内移動だけでなく、乗継ぎによる地域間移動を推奨することで利用促進を図っていく。 また、沿線の商業施設等の協力を得て、バス利用者への優遇措置を設けることで、さらなる利用者増を目指す。
福井鉄道株式会社・江端ルート			A	計画どおり事業は適切に実施された。			
福井鉄道株式会社・清明南ルート			A	計画どおり事業は適切に実施された。			
福井鉄道株式会社・清明南ルート公民館2度回り			A	計画どおり事業は適切に実施された。			

<p>福井市・美山地域バス芦見ルート</p>	<p>市南東部の過疎地域に指定されている美山地域内の芦見地区において、子供や高齢者等の日常生活の移動手段としての路線(路線定期運行)</p>	<p>・芦見地域の移動手段として定着しており、地域バスとして維持していく必要があるため、引き続き利用促進を図った。</p>	<p>A</p>	<p>計画どおり事業は適切に実施された。</p>	<p>B</p>	<p>梶谷町の公共交通空白・不便地域の解消が図られた。 ・年間利用者数:610人に対して341人 ・利用者の満足度:4.0に対して4.7 高齢の固定利用者の割合が多く、1名の減少が利用者数に大きく影響を及ぼす。</p>	<p>芦見地域の移動手段として定着している。また、高齢化が進んでいる地域であるため、今後も地域バスとして維持していく必要がある。そのためにも沿線地区に乗継ぎ情報を含んだ地域ごとのバス停の時刻表を作成して利用促進を図っていく。</p>
------------------------	--	---	----------	--------------------------	----------	--	--

(別添1)

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

平成 年 月 日

協議会名: _____

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
【事業内容及び結果概要を記載】	A ・ B ・ C 評価	【事業が適切に実施された(されている)かを記載。適切に実施されなかった(されていない)場合には、実施されなかった事項及び理由等記載】	【補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載】

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画推進に係る事業)

平成 年 月 日

協議会名: _____

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③事業の今後の改善点 (特記事項含む)
【事業内容及び結果概要を記載】	A ・ B ・ C 評価	【事業が適切に実施された(されている)か記載。適切に実施されなかった(されていない)場合には、実施されなかった事項及び理由を記載。】	【事業の今後の改善点として、取組内容・関係者それぞれが果たすべき役割等を記載。】